

まなざし

令和2年度

立山町立釜ヶ淵小学校

第2学年 学年だより

8月号

伸びようとする心

例年より1か月短い1学期が、終わろうとしています。4月初めの一人一人の様子を思い浮かべながら、どのような成長が見られるようになってきたのでしょうか。学期という一つの区切りで振り返る時、ある本の一節が、心に浮かんできます。

子どもは生きています。子どもは伸びたがっています。

草の実が地におちて、芽生えの条件がそろうのを待ちこがれているように、子どもも伸びたいのちをはちきれそうにたたえて、伸びる条件のそろうのを待ちこがれています。…せめて誰かが、自分のいのちにそっとふれてくれたらと、子どもはそれを待ちこがれています。

子供というのは、「伸びたがっている存在である」と言われます。上の文のように、子供たちは何かのきっかけに出会い、今までとは違った自分に変わっていこうと、努力を続けます。そして、本当に、よりよい自分になっていく存在なのだと思います。

では、2年生は、どうだったのか、3つの姿から紹介します。

○「先生。ボランティア、せんが」

学校の前庭が工事の足場が組まれました。今まで、ボランティアの時間に、池の中のごみを取りに行っていた子供たちの活動場所がなくなりました。また、1階廊下や児童玄関が通行禁止になり、廊下や玄関掃除をしていた子供たちの活動場所もなくなりました。



そんな木曜日の朝。自分たちの場所がなくなったので、かわいそうだなと思い、「みんなの活動する場所がなくなったから、今日は、ボランティアの紙に、この次する場所を考えて書くだけでいいよ」と言いました。すると、Tさんが「先生、ボランティア、せんが」と大きな目を開いて、尋ねてきました。「私も、ボランティアしたい」「ベランダ、掃いていい」と、あちらこちらで声が上がりました。それでもどうかと思い、「たまには、休んでいいんだよ」と言うと、「だって、ボランティア、楽しいもん」と大きな声で言うてくるHさん。それならば活動の時間を取ろうと思い直し、「グラウンドの草取りもできるね」と言うと、ランチルームの出口から、勢いよく子供たちは、とび出していきました。

ボランティアの時間が終わると、子供たちは、たくさんの草を抱えて片付けたり、ベランダのごみを集めたりして、教室に戻ってきました。どの子も、すっきりしたすてきな表情でした。

6月初めのボランティアの時間。何をすればよいのか考えるにも、一苦勞していた子供たち。今では、少しの困難など気にも留めず、チャレンジしていくたくましさを手に入れました。これも、伸びようとする心が、自分自身を成長させている姿の一端なんだと、うれしく思いました。

○難しい漢字の練習は…

人は自分が本当にしたいという目標をもった時、それを目指して努力を続けます。2年生の目標は、「パワフルっ子度100%」になることです。自分の思い描く「パワフルっ子」に近付こうと努力する姿に、子供たちが伸びようとする心を感じます。

Sさんの振り返りです。

わたしが「パワフルっ子」になれるようにがんばっていることが、二つあります。

一つ目は、ボランティアです。…

二つ目は、かん字をきれいに書くことです。はじめのころは、きれいに書くことができませんでした。れんしゅうをくりかえしてきたら、とてもきれいに書くことができるようになりました。毎日れんしゅうしてきたら、とてもできるようになり、うれしいです。

今、わたしは、「パワフルっ子ど」50%になったと思います。

ある日の聞き合いの時間。多くの子供たちから、簡単な漢字の練習は楽しいが、難しい漢字の練習は、面倒だという話が出てきました。ところが、一人だけ、どちらも楽しいと発言した子供がいました。Sさんでした。教室は、「えっー」と驚きの声で騒然としました。「どうして」「何で、そう思うの」といった、分からないコールがあちこちから…。しかし、Sさんは、みんなの騒ぎなんか気にもしないといったふうに、「私、難しい漢字練習でも楽しい。だって、頭がよい人になりたいもん」と、さらりと言いました。

そんなSさんの姿には、漢字を覚えてよりよい自分になりたいという思いや伸びようとする心があふれていました。だからこそ、Sさんは、いつも心を込めて丁寧に漢字を練習していたのかと、感心させられました。

○みんなで力を合わせて



図画工作の時間。破いた新聞紙をつなぎ合わせて、教室から屋上まで1本の綱のようにしようという造形遊びを楽しみました。時間は、12時5分まで。時間が迫ってくるにつれ、何とかやり遂げようとあきらめずに協力しました。「何とか、しようよ」「あと、ここだけだ」など、

励まし合う声が最後まで聞こえてきました。その結果、綱は屋上にたどり着きました。子供たちは、大喜びで、記念撮影。仲間と支え合うことの大切さを実感できた瞬間でした。

みんなで成し遂げるためにチャレンジする、伸びようとするすてきな心の表れだと思いました。

このような、伸びようとする子供たちが、どんどんよりよい自分にならなっていくことができるように、学校ではこれからも応援していきたいと思います。

